

地質ニュース

昭和 49 年 1 月

第 233 号

1974

解 説	五島・対馬周辺海域の海底地質調査研究の概要海底地質調査技術グループ・1
	三土知芳氏 勲二等に叙せられる.....佐藤 茂・19
トピックス	白嶺丸進水.....岡野武雄・20
	桜島の降灰(Ⅱ)~1973年8月~.....小野晃司・22
	地殻熱流量広域調査についての一提案 ~サーミスタ埋込み法~上野 田 誠 也 渡 村 拳 一・26
	千葉県嶺岡山地から有孔虫の発見.....吉田善亮・30
	果して地震の前に岩石は膨脹するか ~ショルツの予知理論とは~.....星野 一 男・37
海外事情	ネパールの鉱産資源~燃料鉱物~.....沢田秀穂・46
	中央アフリカ共和国の旅②~オウアム川とクランペルの宿~小村幸二郎・50

編 集 地質調査所

表紙の写真

発電を待つ蒸気井

宮城県の鬼首地熱発電所は 昭和50年春の開業を目指して 目下建設工事が進められている。日本では第4の地熱発電所で 開業時には日本では最大の25,000kWの出力を持つことになる。写真はやがて発電所に蒸気を供給することになる生産井群で 深さは発電蒸気井としては浅い300mクラスのものである。この地区の地熱探査は電源開発株式会社によって昭和37年秋から始められ 最深1,350mまでのボーリングが行なわれ 100~300mの比較的高温 弱酸性 300~700mの比較的低温 弱アルカリ性 700m以下の高温酸性の3層構造が明らかにされ 最終的に最上部の貯溜層を開発することになったものである。鬼首の地熱構造は世界でも珍らしいもので これからの活火山地帯の地熱開発に貢献することはきわめて大きいと思われる。11年間の探査技術者の哀歎を秘めつつ 蒸気は天に沖している。

(文角清愛 写真 正井義郎)

発行 株式会社 実業公報社